

JOY メディカルクリニック 介護医療院おはな

2023 年度 医療法人玉昌会 JOY メディカルクリニック・介護医療院おはな

《理 念》

行動指針「低賞感微」に沿った医療・介護サービスを提供します

《基本方針》

1. 患者さま・利用者さまの尊厳や権利を尊重した医療・介護を行います
2. 患者さまの視点に立ち、良質で安心・安全な医療・介護の提供に努めます
3. 地域包括ケアシステムの構築に寄与し、全世代に対応した医療・介護・福祉サービスを含めた生活支援サービス提供を目指します
4. 『健康経営宣言』に則り、病院および在宅サービス事業部の健全な運営を行い、安心して働きがいのある職場づくりに取り組みます
5. 健診事業や健康増進事業に取り組み、職員や地域住民の健康管理や病気および介護予防に取り組みます入力してください

《運営方針》

1. 患者さんの医療・介護の質の確保と安全に努めます
2. 慢性腎臓病（CKD）を中心とした腎疾患診療部門の充実を図ります
3. 健診事業による5疾病の未病・予防に取り組みます
4. 『健康経営宣言』に則り、療養・職場環境の改善に努めます
5. 人財の確保および育成に努めます
6. 地域共生社会の実現に取り組みます
7. 地域のニーズにあった病院機能の見直しを行います
8. 将来の病院機能を見据えた病床機能の再編に取り組みます
9. 加治木温泉病院の新築移転に向けての取り組みを進めます

JOY メディカルクリニック・介護医療院おはなの沿革

- | | |
|-------------|---|
| 2022 年 12 月 | JOY メディカルクリニック開院
介護医療院おはな開院 病床数 60 床 |
| 2022 年 12 月 | 難病の患者に対する医療等に関する法律第 14 条第 1 項の規定による指定医療機関 指定（JOY メディカルクリニック・介護医療院おはな） |
| 2022 年 12 月 | 生活保護法に基づく指定医療機関 指定（JOY メディカルクリニック・介護医療院おはな） |
| 2022 年 12 月 | 診療・検査医療機関 指定（JOY メディカルクリニック） |
| 2023 年 1 月 | 労災保険指定医療機関 指定（JOY メディカルクリニック） |

J0Y メディカルクリニック・介護医療院おはな 2023 年度概要

名 称 医療法人玉昌会 J0Y メディカルクリニック
介護医療院おはな

所在地 〒899-5231
鹿児島県始良市加治木町反土 2156 番地 5
TEL (0995) 73-3356 FAX (0995) 62-0120 (J0Y メディカルクリニック)
TEL (0995) 63-8889 FAX (0995) 62-0120 (介護医療院おはな)

【J0Y メディカルクリニック】

開設者 理事長 高田 昌実

管理者 院長 濱田 浩志

診療科目 内科

社会保険等指定

保険医療機関、生活保護、労災保険、難病医療等指定医療機関、
外来対応医療機関（新型コロナウイルス）

施設基準

情報通信機器を用いた診療に係る基準

【介護医療院おはな】

開設者 理事長 高田 昌実

管理者 院長 濱田 浩志

療養室数 60 室

施設基準

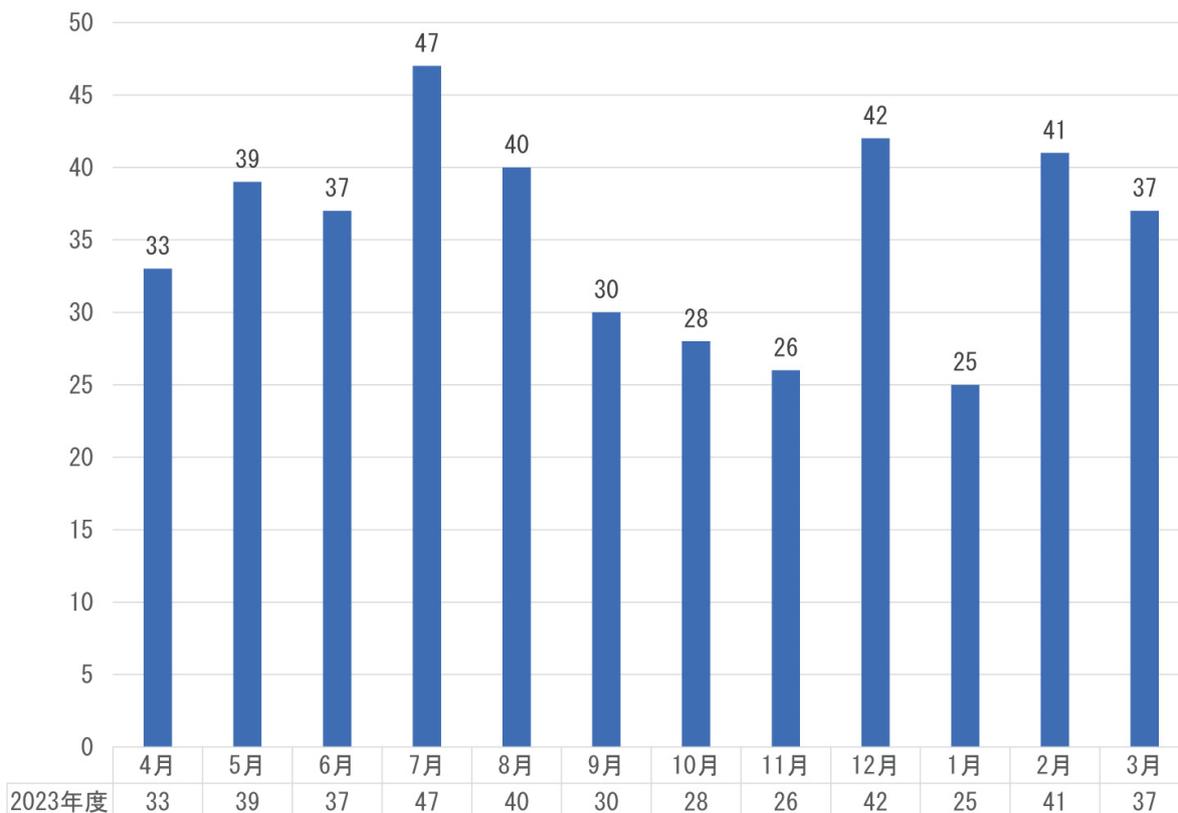
Ⅱ型介護医療院サービス費Ⅰ、夜間勤務条件基準 加算型Ⅳ、
身体拘束廃止取組の有無 基準型、安全管理体制 基準型、
栄養ケア・マネジメントの実施、療養環境基準（廊下） 基準型、
療養環境基準（療養室） 基準型、若年性認知症入所者受入加算、
栄養マネジメント強化体制、療養食加算、集団コミュニケーション療法、
リハビリテーション提供体制 理学療法Ⅰ、作業療法、言語聴覚療法、その他、
排せつ支援加算、自立支援促進加算、科学的介護推進体制加算、
安全対策体制、サービス提供体制強化加算 加算Ⅱ、
介護職員処遇改善加算 加算Ⅰ、LIFE への登録

その他

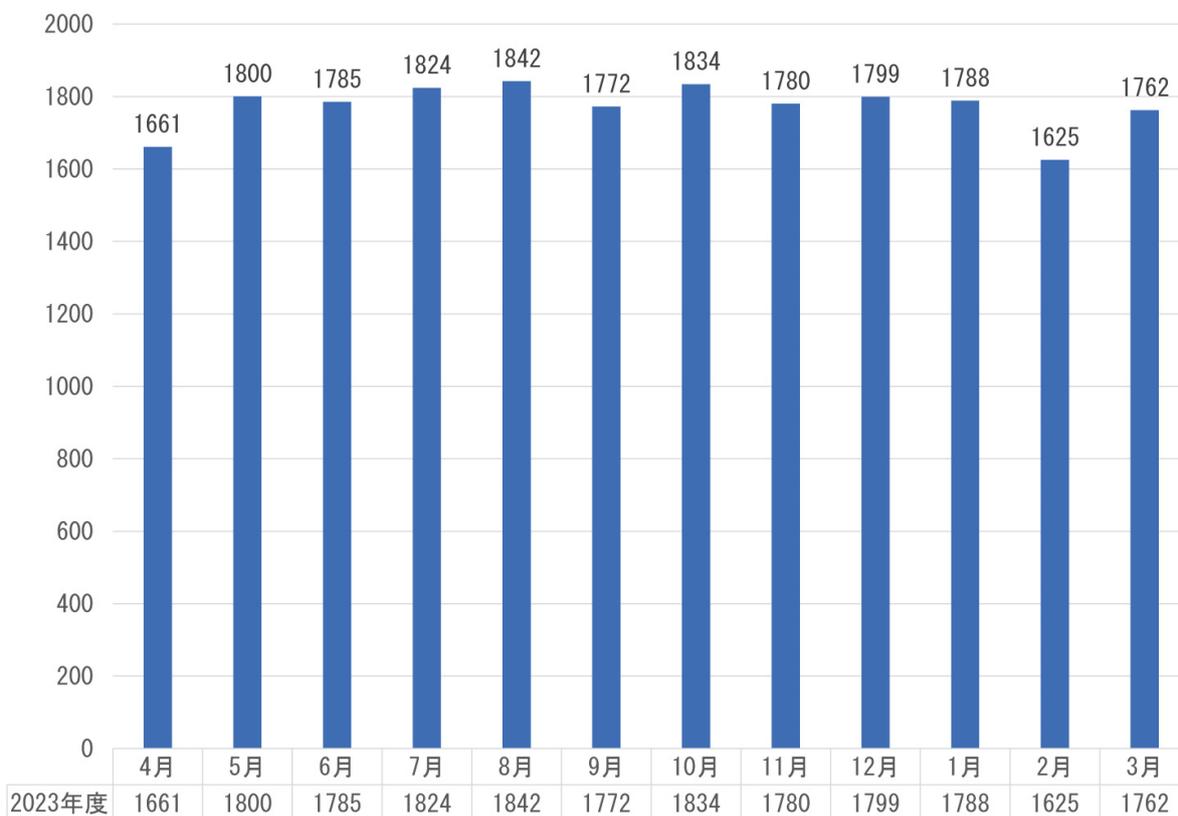
難病医療等指定医療機関、生活保護指定医療機関、不在者投票実施指定

JOY メディカルクリニック・介護医療院おはな 統計

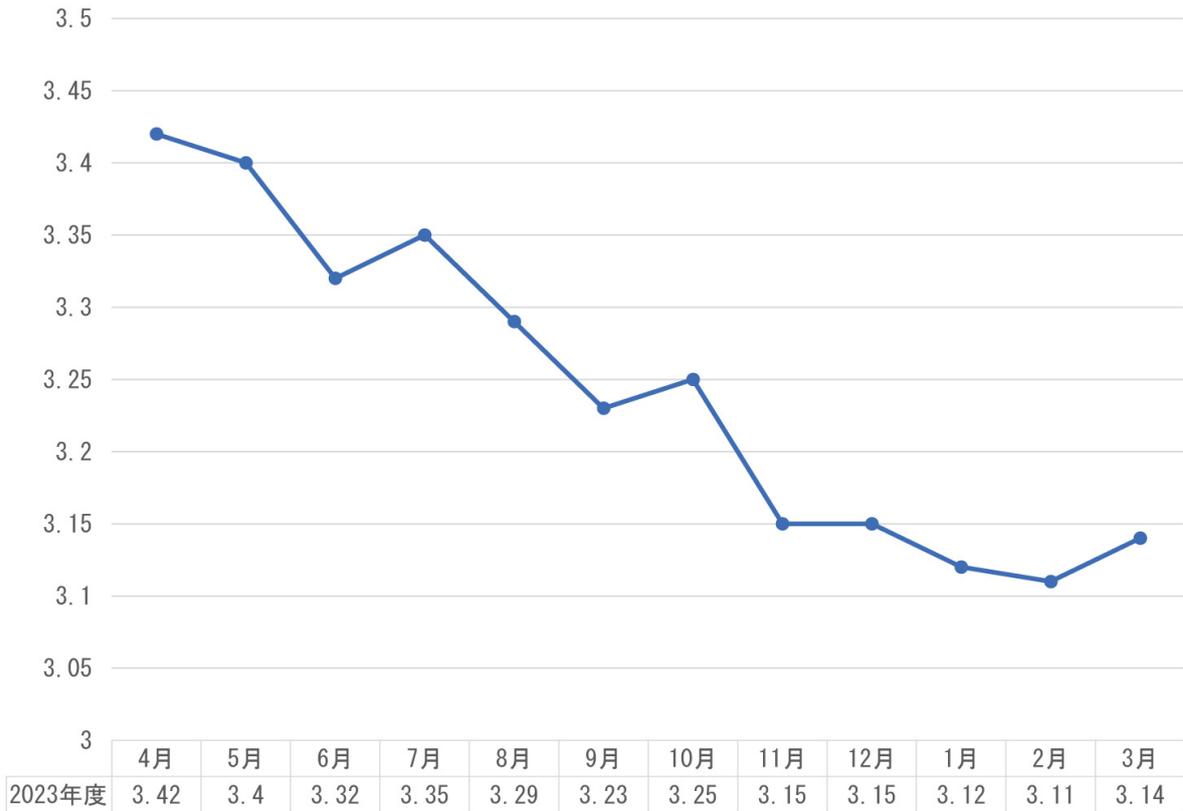
2023 年度 JOY メディカルクリニック 患者延数



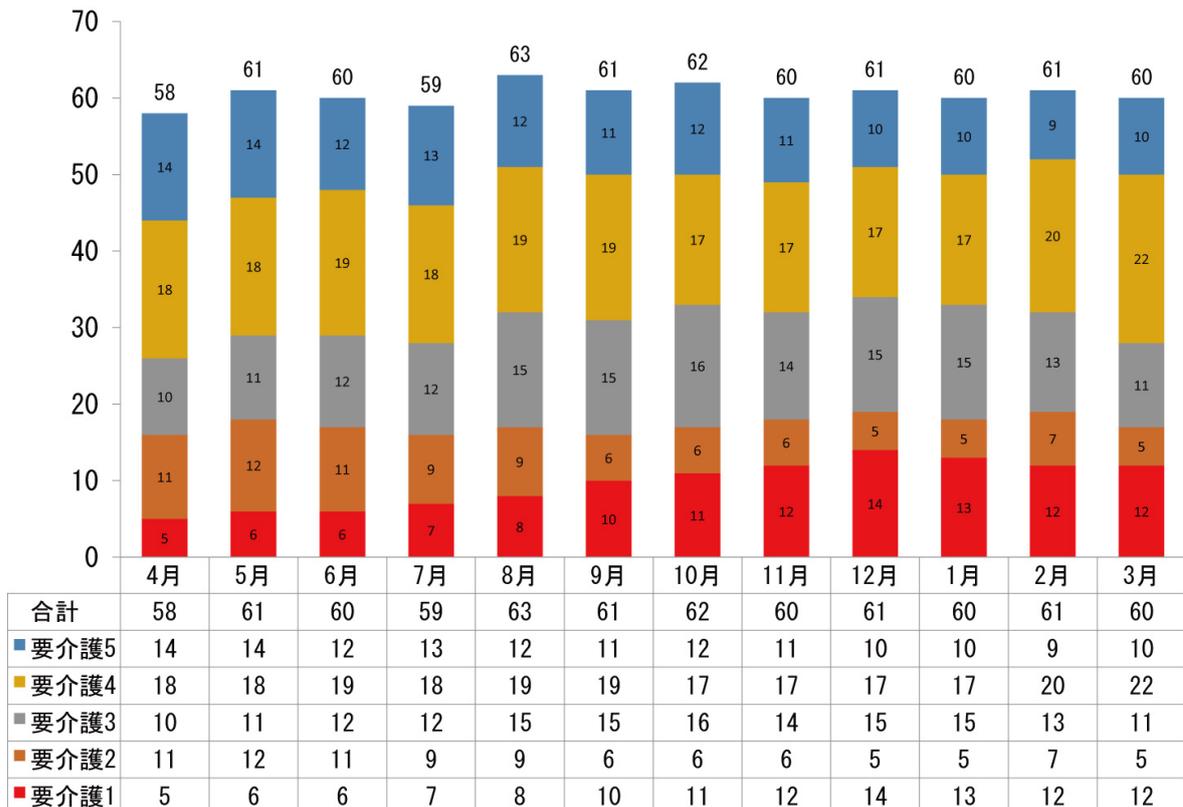
2023 年度 介護医療院おはな 入所者延数



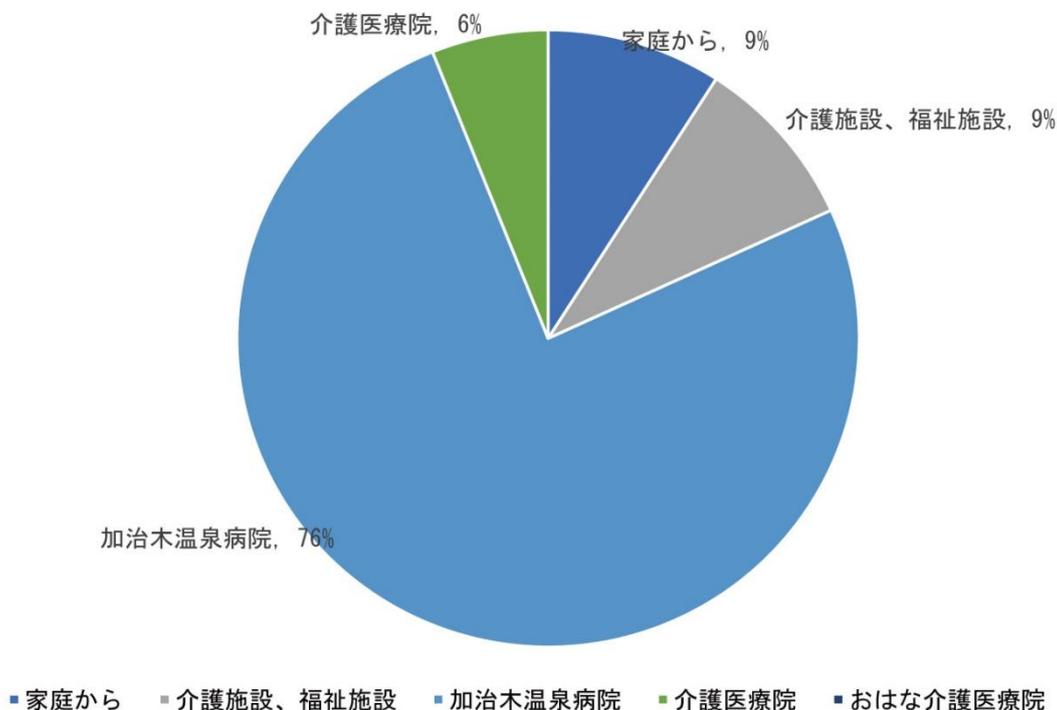
2023 年度 介護医療院おはな 平均介護度



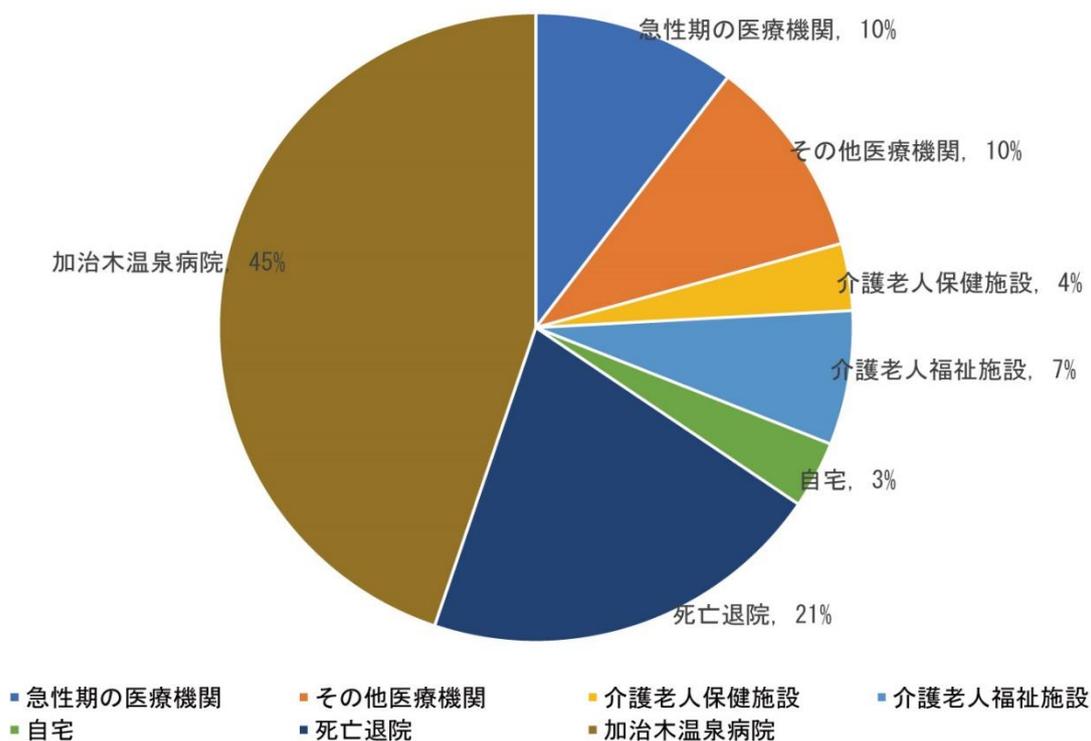
2023 年度 介護医療院おはな 介護度別分布



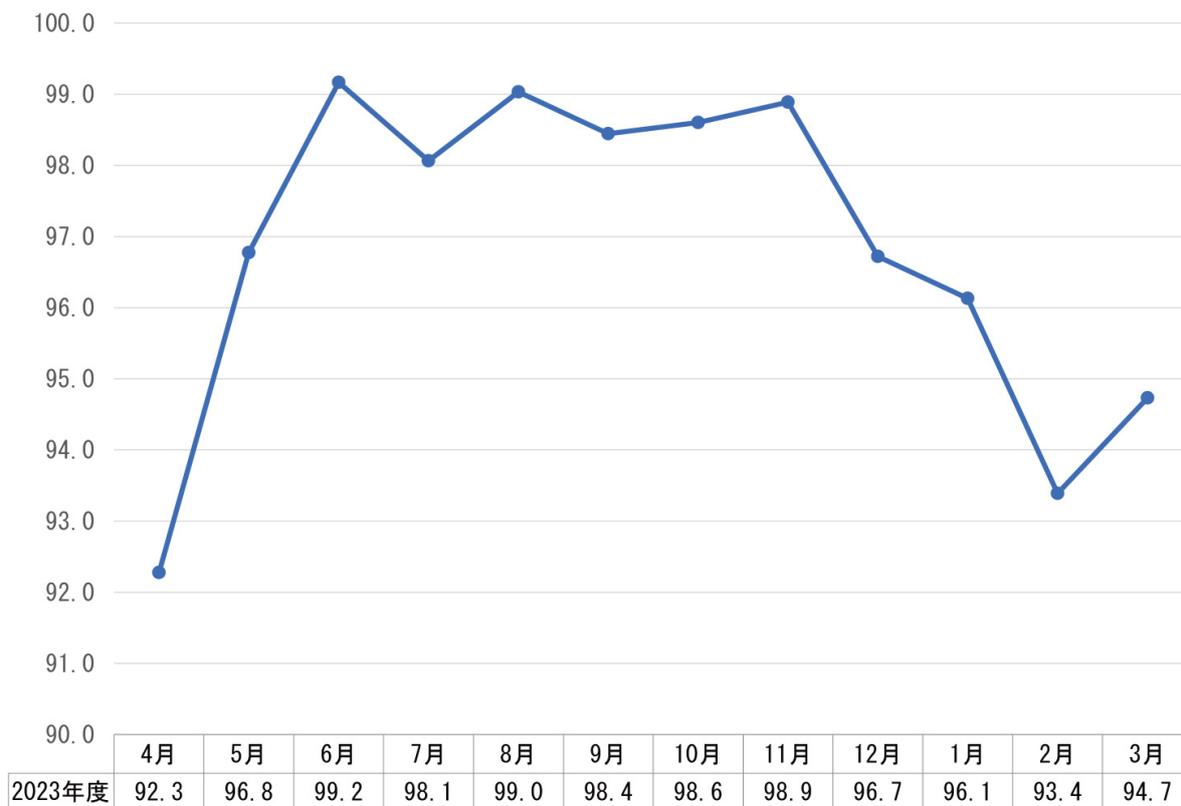
2023 年度 介護医療院おはな 紹介元別割合



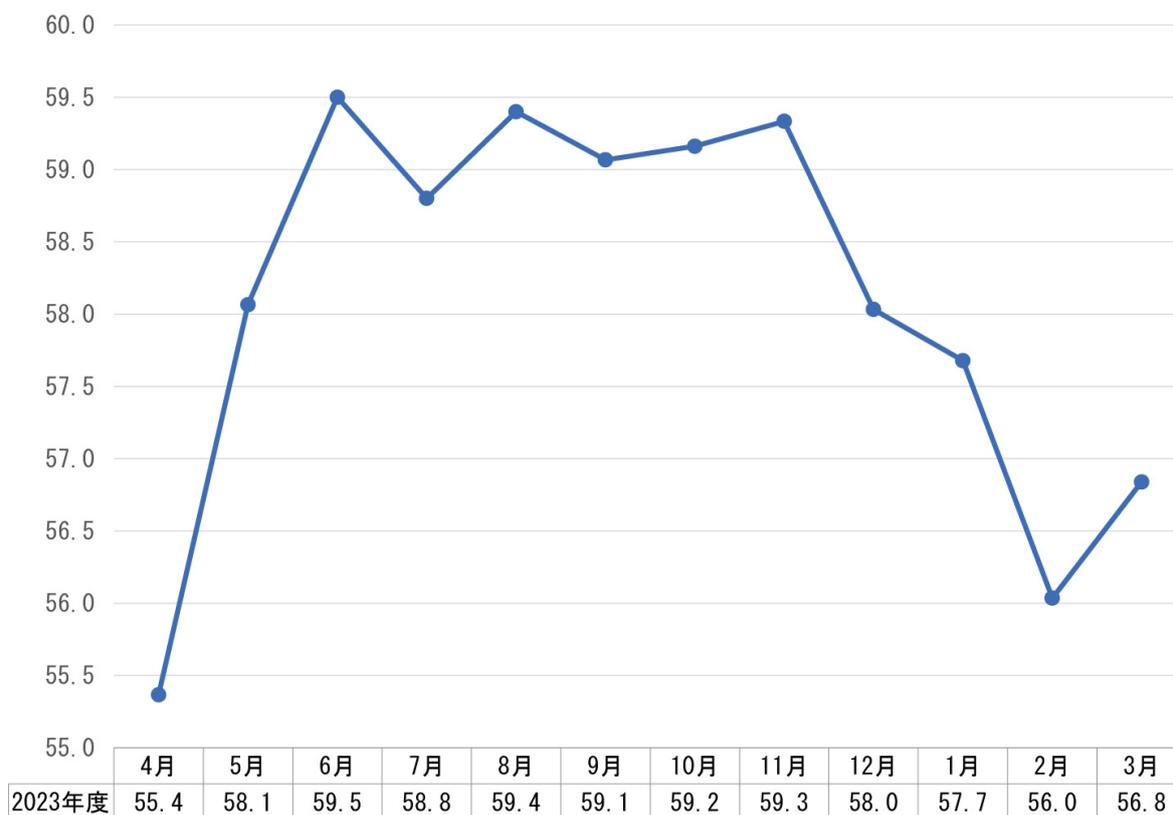
2023 年度 介護医療院おはな 逆紹介元別割合



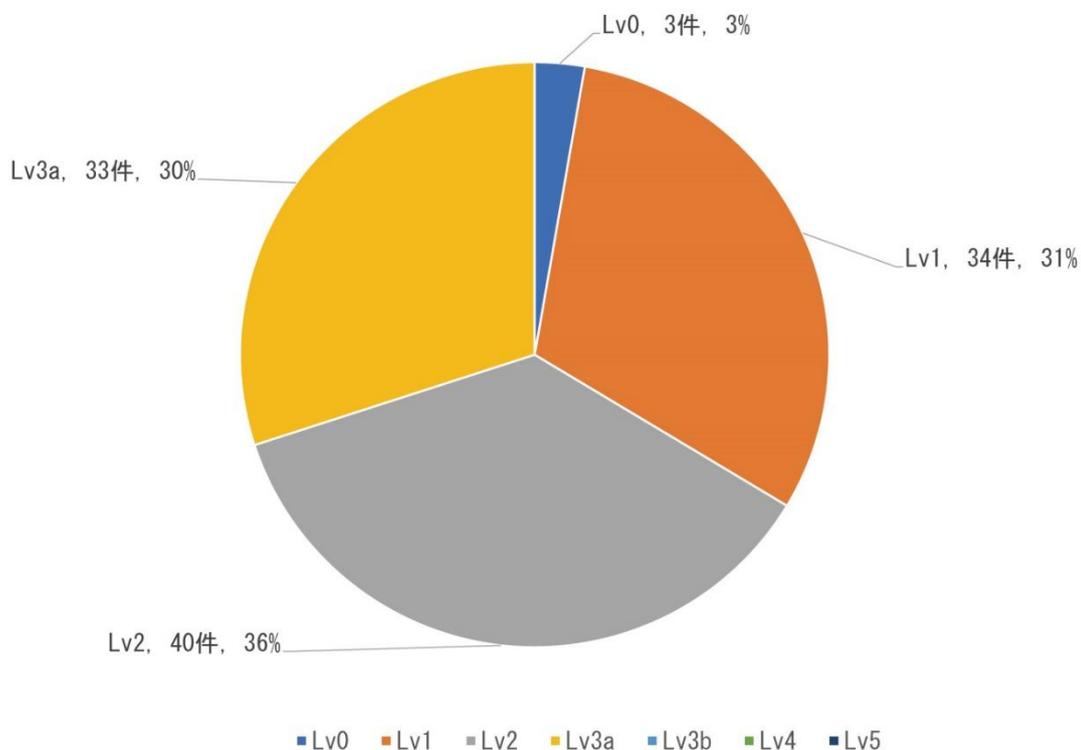
2023 年度 介護医療院おはな 稼働率



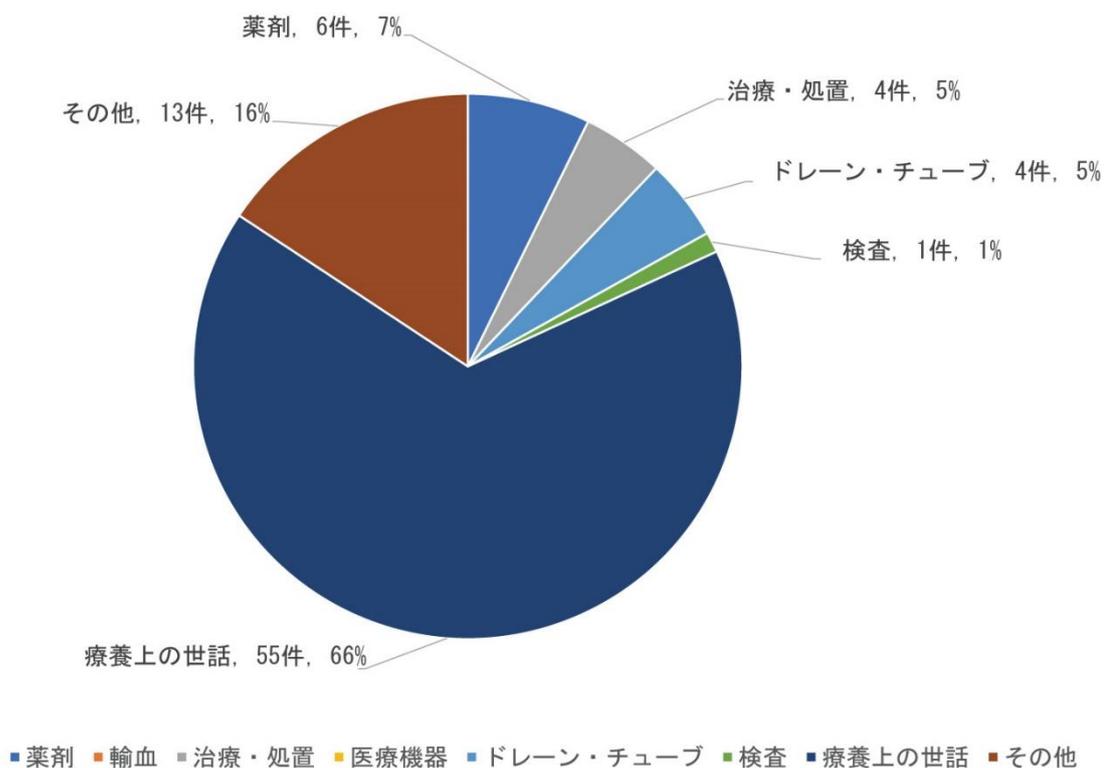
2023 年度 介護医療院おはな 平均入所者数



2023 年度 介護医療院おはな 事故レベル別件数



2023 年度 介護医療院おはな 要因別発生件数



JOY メディカルクリニック・介護医療院おはな 部門別活動報告

看護部

【今年度の取り組み】

- A-1. 地域包括ケアシステムを意識した活動の強化
達成目標：ケアプランに沿った看護計画の修正。新規入所時のACPの確認
- B-1. 入院病床稼働率向上
達成目標：9月には100%達成したが、コロナ感染症や看取り症例あり、年間平均稼働率96.8%
- C-1. 医療・介護の質向上。業務負担の軽減
達成目標：認知症、ターミナルケアの研修会。看取りに対する意識向上が図れた。管理者による年間4回の職員との面談を実施。心身面のフォロー、業務負担軽減を図った
- D-1. 専門性の強化
達成目標：看取り、認知症、人権擁護、ケアマネ資格取得・更新、喀痰吸引指導、救命救急研修など介護施設に飛鳥な専門的知識の向上が図れた。

【今年度を振り返って】

今年度は、看取り体制の構築と職員の意識向上に取り組んだ。入所者が穏やかな最期が過ごされるよう支援、ご家族からの「住み慣れた、おはなで最後まで」の言葉に寄り添う介護の提供が出来た。介護の専門的知識の向上にむけ、積極的に研修会参加、資格取得に取り組んだスタッフがいた。一方で研修会へ参加するスタッフには偏りがみられたため、個々の目標に沿った研修会参加への計画が必要である。また、働き続けられる環境づくり、多様な勤務形態を導入し離職防止を図った。コロナ感染症の発生・看取り症例に伴い、入所・在宅支援への遅れがあったが、稼働率100%を目指し、加治木温泉病院との連携、外部からの入所調整に取り組んだ。介護の人手不足による多重業務、腰痛などの身体的負担が心配された。タスクシフト・シェアを行い、業務の効率化と業務負担軽減、時間外勤務時間軽減を図った。

医事係

【今年度の取り組み】

- A-1. 接遇の向上、改善
達成目標：満足度調査で事務に対する満足度90%以上
- B-1. 増収対策、安定経営への取り組み
達成目標：新規届出もしくは増収に関する提案1つ以上（1年間に2つ以上）
- B-2. 増収対策、安定経営への取り組み
達成目標：年度末までに稼働率90%（54床）以上を達成する
- C-1. インシデントアクシデントに対する意識の向上、改善
達成目標：1人6枚以上提出
- D-1. 教育体制の向上
達成目標：全国の学会で1演題発表

【今年度を振り返って】

満足度調査の準備・実施や、経常利益の黒字化に対する提案、全国学会での発表など、多くの項目は達成できた。次年度は報酬改定もあるので、更なる増収対策に取り組みたい。また、入所者・職員満足度向上に向けて取り組みたい。

介護医療院おはな 各種委員会

2023 年度 委員会・会議 一覧

	委員会名	開催日	目的
診療関係	栄養管理委員会	第2木曜	栄養管理・給食管理上の現状、その問題点・課題を把握し、改善策を検討・実施することにより円滑で適性な運営を図る
	口腔衛生管理委員会	第4木曜	口腔に関する現状を討議し、健全に維持するために職員の知識・技術向上を図ることを目的とする
教育関係	看護部教育委員会(合同)	3ヶ月に1回	看護職、介護職の知識・技術の向上と協同を目的とする
	看護部教育委員会(CW)	第1木曜	介護職の知識・技術の向上を目的とする
	虐待防止対策委員会	第3木曜	虐待等の発生の防止・早期発見に加え、虐待等が発生した場合はその発生を確実に防止するための対策を検討し、職員に周知徹底を図る
	看護部教育委員会(Ns)	第3木曜	知識・技術の向上、主体性と自主性のある看護職の育成
医療安全対策関係	褥瘡対策委員会	第2木曜	褥瘡を予防することを目的とする
	院内感染対策委員会	第4木曜	院内感染の予防対策及び知識の啓蒙を図り、健全な医療体制及び施設確立を図る
	看護部記録委員会	第4木曜	看護記録について勉強会や監査を行い記録の充実を図る
	事故防止検討委員会	第3木曜	安全対策・事故防止に対する取り組みを行う
	身体拘束適正化検討委員会	第3木曜	身体的拘束等の適正化のための対策を検討し職員に周知徹底を図る
その他	介護医療院おはな運営会議	第4木曜	良質で安全な医療・介護サービスの提供と、安定的な経営の維持、問題解決を目指し介護医療院の運営方針の決定を行う

在宅事業

2023 年度 医療法人玉昌会 在宅サービス事業部

《経営理念》

「いつまでも健やかに・・・

ー私たちの願いです。」

「貴方らしく暮らすために・・・私たちは地域に貢献します。」

《経営目標》

私たち医療法人玉昌会は、

地域の医療・介護及び福祉のシームレスな連携を構築します。

地域の皆様の安心・安全・健康に貢献します。

「生き生き」暮らす環境を提供します。

在宅サービス事業部の概要

名称 医療法人玉昌会 在宅サービス事業部
開設者 高田 昌実

◇◇◇ 鹿児島地区 ◇◇◇

訪問介護ヘルパーステーション 甲東 鹿児島市新町 5 番 19 号高田ビル 405	TEL099-219-2670	1998 年 5 月開設
居宅介護支援事業所キラメキ 鹿児島市荒田 1 丁目 16-3 YU FIRST BLDG. 4 階	TEL099-203-0172	1999 年 10 月開設
デイサービス 風の街 鹿児島市堀江町 6-3	TEL099-248-8112	2011 年 5 月開設
看護小規模多機能型居宅介護 星の街 鹿児島市堀江町 6-3	TEL099-248-8136	2011 年 5 月開設
住宅型有料老人ホーム ほりえ 鹿児島市堀江町 6-3	TEL099-248-8111	2011 年 5 月開設
訪問看護ステーション まむ鹿児島 鹿児島市堀江町 6-3	TEL099-248-8450	2012 年 7 月開設
キラメキテラス看護小規模多機能型居宅介護 麗 鹿児島市高麗町 22-16	TEL099-230-7122	2021 年 3 月開設

◇◇◇ 始良地区 ◇◇◇

居宅介護支援事業所 めく杜 始良市加治木町反土 2156-5	TEL0995-62-0106	1999 年 10 月開設
訪問看護ステーション まむ 始良市西餅田 202-3	TEL0995-55-4649	2008 年 3 月開設
デイサービス しあわせ通りらぶ (2024 年 4 月 30 日 休止) 始良市加治木町反土 2156-5	TEL0995-62-5950	2016 年 4 月開設
グループホーム 木もれ日 (2024 年 4 月 30 日 休止) 始良市加治木町反土 2156-1	TEL0995-62-5915	2009 年 4 月開設
グループホーム 花いちもんめ (2024 年 4 月 30 日 休止) 始良市加治木町木田 4888-4	TEL0995-62-2983	2016 年 4 月開設
住宅型有料老人ホーム おはな別館 始良市西餅田 202-3	TEL0995-65-2040	2011 年 6 月開設
看護小規模多機能型居宅介護 お福 始良市西餅田 202-3	TEL0995-65-1234	2021 年 10 月開設
看護小規模多機能型居宅介護 とまり木 (2024 年 3 月 31 日 休止) 始良市加治木町反土 2156-1	TEL0995-62-5916	2020 年 10 月開設

在宅サービス事業部 部門別活動報告

住宅型有料老人ホーム おはな別館

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度向上

達成目標：緊急時において主治医、看護小規模多機能の訪問看護と連携を図ることで下期 1 月にご入居者様のお看取りをさせていただくことができた。

B-1. おはな別館の健全運営

達成目標：平均入居者率 19.0 名 稼働率 95.3% 満床 4 か月推移することができた。

C-1. リスクマネジメントの強化

達成目標：事業所ミーティングにてインシデント・アクシデント・事故報告をし、事故発生時には対策を検討、在宅会議にて報告している。しかし、年間報告の集約・分析・職員への報告を未実施である。

C-1. 法令遵守に基づくサービスの提供

達成目標：立ち入り検査受信し改善項目（長期収支計画の作成）あり改善を行った。

D-1. 業務に関する基礎知識の習得 学習意欲の向上

達成目標：4 月に研修計画を立案し、重点項目である身体拘束・高齢者虐待・認知症、感染対策を取り入れるも決まった職員のみで参加率は低く未達成である。

【今年度を振り返って】

今年度は、目標平均入居者数 19 名・目標平均稼働率 95%に対し、年間平均入居者数実績 19.0 名、年間平均稼働率 95.3%と、目標は達成することができました。要因としては、おはな本館の転換に際し転居者 5 名の受け入れを行い満床となるも、同じくおはな本館から職員の配置転換もあったため人件費増となりました。

下半期に看護小規模多機能お福と連携し、施設内でのお看取りを 1 名させていただくことができ、ご利用者様ご家族様の満足度に努めることができました。又、本年度コロナ渦にて開催できませんでした対面式での運営懇談会を開催でき、利用者家族の皆様との情報共有を図ることが出来ました。

新型コロナウイルスのクラスター感染を経験し、ご利用者様やご家族様にはご心配ご迷惑をお掛けした年でした。今後も、引き続き感染症対策を進めてまいります。

住宅型有料老人ホーム ほりえ

【今年度の取り組み】

A-1. ご家族様・ご入居者様の満足度率向上

達成目標：ほりえ全体でのイベント実施。満足度調査による満足度率 85%以上

B-1. 既存事業所の健全経営

達成目標：予算書に基づく事業運営年、平均値 26.1 名

C-1. リスクマネジメントの強化

達成目標：リスクマネジメント事例に対して、毎月のカンファレンス実施、他事業所事例検討

C-2. 法令遵守に基づくサービスの提供

達成目標：立入検査を見据え、事業所自己評価を行う

D-1. 業務に関する基礎知識の習得

達成目標：年間研修計画に基づいた研修参加率 65%、BCPに基づいた防災訓練の実施

【今年度を振り返って】

今年度より少しずつではあるが、コロナによる面会制限の緩和、経年劣化における建物内居室等リフォーム等を実施。入居者やご家族の満足度向上に繋げる。入居に関しては、夫婦での入居事例も視野に入れ、夫婦居室を増やし、定員 27 名から 30 名への定員変更、空床対策として短期入所を実現、要支援の方を含む 2 名の受入れを実施した。又、適切な環境、健康管理を行うため毎月モニタリングを実施し、入居後の生活向上に努めた。入居者の生活を管理する上で、非常災害等に対する対応が求められている中、法人内にて BCP（事業継続計画）における大規模災害模擬訓練に参加。連絡体制や状況把握への取り組みを行う。今後は BCP に対しての意識、計画についての周知、把握を徹底していきたい。

看護小規模多機能型居宅介護 お福

【今年度の取り組み】

- A-1. 利用者様の満足度向上①
達成目標：満足度調査を実施し、調査結果を運営推進会議や利用者ご家族へ公表する。
- A-2. 利用者様の満足度向上②
達成目標：サービスの質の向上や業務改善について検討し、改善事例があれば実施し評価を行う。
- B-1. 既存事業所の健全経営
達成目標：登録平均を 24 名。
- C-1. リスクマネジメントの強化
達成目標：毎月の定例ミーティングでインシデント・アクシデント報告・事故報告・車両事故報告を行い、対応策を検討する。また、年間の報告件数を集約・分析し、結果を全事業所に報告する。
- D-1. 法令遵守に基づくサービスの提供
達成目標：自己点検票にて自己点検（評価）を実施する。
- E-1. 業務に関する基礎知識の習得
達成目標：事業所内で研修計画を作成し、研修テーマや講師担当などを取り決め実施する。

【今年度を振り返って】

今年度は、目標登録平均者数 23 名に対し、年間登録平均者数実績 24 名と達成した結果でした。次年度も、医療機関や居宅介護支援事業所、地域包括支援センターなど周囲の関連事業所との連携を図り、迅速な対応に努めたいと思います。また、運営指導も実施され運営の仕方についても行政から指摘を頂きましたが、問題なく完了しております。

コロナ禍において今まで運営推進会議においても紙面開催で実施しておりましたが、今年度は対面式にて開催を再開でき、地域の方々のご意見を頂きながら運営が行えたと思います。10月には建昌自治会の運動会にも参加させて頂きました。今後も地域の方々との交流を図っていききたいと思います。

今年度 8 月より管理者及びケアマネージャーが変更となり、新たな体制を構築しながらの運営にて看取り対応や、医療ニーズがある方への対応、認知症を患っている方の対応等、業務内容を見直しながら対応出来た 1 年であったと思います。今後も、利用者様が住み慣れた地域で安心・安全な生活を送ることが出来るよう地域内でサポートし合いながら、本人らしい暮らしの実現に向けて支援していきます。

看護小規模多機能型居宅介護 とまり木

【今年度の取り組み】

- A-1. 利用者様の満足度向上
達成目標：年間計画に基づく満足度調査の実施、集計、集計結果公表。
業務改善事例があれば、実施し評価を行う。
- B-1. 既存事業所の健全運営
達成目標：登録実稼働平均 25.7 名、継続した各種加算の取得。
- C-1. リスクマネジメントの強
達成目標：毎月のミーティングでインシデント・アクシデント報告、事故報告、車両事故報告、検討会を実施する（毎月）。
毎月の在宅介護で件数と事例を報告する。年間の報告件数を集約・分析し結果を事業所職員に報告する。
- D-1. 法令順守に基づくサービスの提供
達成目標：事業所で自己点検表にて評価を行い年度内にて事業所で実施報告を行う。
- E-1. 業務に関する基礎知識の習得
達成目標：事業所内で研修計画を作成し実施する。研修内容やテーマ、講師担当を決め実施する。事業所内ミーティング等で勉強会の実施。重点項目として身体拘束、高齢者虐待、認知症、医療に関して研修を行う。

【今年度を振り返って】

今年度より看護小規模多機能型居宅介護での短期利用（ショートステイ）の受け入れを行い、居宅変更せず

在宅サービス事業部 部門別活動報告

一定の期間ショートステイを利用者様に提供することができた。コロナ禍で入院中の利用者様のご逝去されたり、在宅復帰が難しい利用者様等が重なることで稼働率を大きく下回る結果となった。介護職員不足等の事情により、3月末をもって事業休止することとなりました。利用者様を始め、地域の方々、関係機関にお世話になりました。誠に有難うございました。

看護小規模多機能型居宅介護 星の街

【今年度の取り組み】

- A-1. 利用者様の満足度向上
達成目標：満足度調査、集計実施
- B-1. 健全経営
達成目標：稼働実績 21 名の達成。
- C-1. リスクマネジメントの強化
達成目標：利用者様の安全への取り組みの実践
- D-1. 業務に関する基礎知識の習得、個々のスキルアップ 知識の向上
達成目標：外部研修へ研修参加を促し伝達講習の実施。

【今年度を振り返って】

経営面は、平均稼働人数達成出来た月もあったが、大幅な稼働には至らなかった。満足度調査を実施し満足度 92%の結果となり、利用者やその家族から暖かい言葉を頂いた。新型コロナウイルス感染対策を行いながら、レクリエーションでは年間スケジュールに合わせ計画書、報告書を作成し、事業所内でのイベントや・外出レクなどを行った。利用者にとっても喜んで頂いた。介護度の高い利用者の受け入れから、終末期ケアまでの利用者を積極的に受け入れた。経管栄養、導尿、看取り等の医療必要度の高い利用者を受け入れ、事業所としてケアの質の向上や多職種の連携を重視し、業務改善やフィードバックによる意見交換などを設け、ケアの統一を図った。リスクマネジメントの強化として急変対応など、ケアカンファレンスを都度行い、情報共有に努め介護と看護で支えていけるように努めた。外部研修では、介護職員等によるたんの吸引等の実務研修、介護福祉士による排泄ケアの講習受講、専門分野における個別研修などスキルアップへの取り組みがあった。今年も引き続き、事業所のケアの質の向上に努めると共に、より利用者様の安心安全にむけた様々な取り組みを実施したい。

キラメキテラス看護小規模多機能型居宅介護 麗

【今年度の取り組み】

- A-1. 利用者様の満足度向上
達成目標：満足度調査の実施 集計 集計結果の公表 接遇、マナーに関する報告ゼロ
- B-1. 健全経営
達成目標：登録実稼働 月平均 18.3 名
- C-1. リスクマネジメントの強化
達成目標：インシデント・アクシデント、車両事故の報告ゼロ 内部監査計画書の作成 事業所自己点検シートの記入
- D-1. 業務に関する基礎知識の習得、学習意欲の向上
達成目標：BCP、ハザードマップの作成を行い、高麗町の防災訓練や地域住民と介護予防に取り組む年間計画に沿った研修会の実施とオンラインを含む外部研修への参加

【今年度を振り返って】

医療行為が必要な重症の利用者を受け入れ、家族の介護負担軽減、退院後の在宅復帰支援を事業所理念とし 365 日 24 時間の運営を行っている。地域密着型サービスとして住み慣れた地域で生活を継続していくため「その人らしさ」を大事にし、通い、泊り、訪問介護、訪問看護を柔軟に組み合わせ支援継続している。2023 年度の事業所目標の達成状況は、利用者様の満足度向上の視点では満足度調査の実施、公表を行うことができた。その結果として中重度の受け入れを行い地域に貢献できていると考える。事業運営ではじめて看取り支援があり、家族とコミュニケーションを図り、ご本人の望む形での最後を迎えることができた。健全経営の面では稼働目

標を下回る結果となった。リスクマネジメントの強化の視点では車両事故の発生があり未達成となった。業務に関する基礎知識の習得の視点ではBCPの初動訓練の実施、高麗町の防災訓練参加、町内保育園との連携等実施し達成となった。運営推進会議からの地域情報から連携を行えている。学習意欲の視点では年間計画における機械の確保、オンライン研修機会の確保を行い達成となった。

グループホーム 木もれ日

【今年度の取り組み】

- A-1. 利用者様の満足度向上
達成目標：接遇、マナーについての勉強会を実施し、苦情報告ゼロを目指す
満足度評価の実施及び集計結果の公表を行う
- B-1. 既存事業所の健全経営
達成目標：利用者月平均 8.5 名以上
定期的に広報活動を行い、退去時のスムーズな入所に繋がるよう待機者を確保する
サテライトである花いちもんめと木もれ日とで人員の柔軟な配置を行い、人員の適正化を図る
- C-1. リスクマネジメントの強化
達成目標：インシデント・アクシデント報告・車両事故報告について、全事業所で情報共有数することで同じような事例の事故を未然に防ぐ
- C-2. 法令順守に基づくサービスの提供
達成目標：事業所の自己点検シートの記入、内部監査の実施
- D-1. 地域ケアシステムの構築、地域共生社会の実現・学習意欲の向上
達成目標：BCPの作成を行い、地域の防災訓練や地域住民と介護予防に取り組む
年間計画に沿った研修会の実施とオンラインを含む外部研修へ参加する

【今年度を振り返って】

利用者月平均 8.5 名以上という今年度の目標に対し、年間を通して月平均稼働率 8.7 名と、安定した稼働を維持することができました。また、今年度より感染対策を行いながら運営推進会議の事業所開催や地域行事への参加も再開され、地域住民の方にも、より、グループホーム木もれ日を知っていただく良い機会になったのではないかと思います。

1 月には、良質なサービス水準を確保しサービスの質の向上を図ることを目的とした外部評価を受審し、大きな指摘事項はありませんでした。

介護職員不足等諸般の事情により、4 月末をもって事業休止することとなりましたが、地域の皆様や関係事業者の皆様には開設以来大変お世話になり、心から感謝申し上げます。

グループホーム 花いちもんめ

【今年度の取り組み】

- A-1. 利用者様の満足度向上
達成目標：毎月、管理者会議でイベント「、食事、接遇について議題を設け話し合うようにしていく。
話し合いの内容について、改善案を抽出し、実施した内容等をしっかりと記載。満足度評価を行う。
- B-1. 既存事業所の健全経営
達成目標：稼働率 95.0%、一日平均 8.5 名以上利用
予算書に基づく事業運営を行う
- C-1. リスクマネジメントの強化
達成目標：毎月インシデントアクシデント報告・事故報告・車両事故報告会を実施する。
年間報告件数を集約・分析し管理者会議で報告する。
- D-1. 法令遵守に基づくサービスの提供
達成目標：内部監査計画に沿って、内部監査の実施。(評価表に事業所名と監査日を記入する)
- E-1. 地域包括ケアシステムの構築、地域共生社会の実現
学習意欲の向上
達成目標：事業所にてBCPの作成を行い、各地域の防災訓練や地域住民と介護予防に取り組む。

在宅サービス事業部 部門別活動報告

年間計画に沿った研修会の実施とオンラインを含む外部研修への参加。

【今年度を振り返って】

利用者月平均 8.5 名以上という今年度の目標に対し、年間を通して月平均稼働率 8.6 名と、安定した稼働を維持することができました。また、今年度より感染対策を行いながら運営推進会議の事業所開催や地域行事への参加も再開され、地域住民の方にも、より、グループホーム花いちもんめを知っていただく良い機会になったのではないかと思います。

1 月には、良質なサービス水準を確保しサービスの質の向上を図ることを目的とした外部評価を受審し、大きな指摘事項はありませんでした。

介護職員不足等諸般の事情により、4 月末をもって事業休止することとなりましたが、地域の皆様や関係事業者の皆様には開設以来大変お世話になり、心から感謝申し上げます。

デイサービス しあわせ通り らぶ

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様への対応改善

達成目標：満足度調査の集計結果公表。

業務改善事例があれば、実施し評価を行う。

B-1. 事業所の健全経営

達成目標：延べ回数平均 526 名。1 日利用平均 20.2 名。

※人員配置不足および事業所休止予定にともない年末より新規受け入れ不可

C-1. インシデント・車両事故報告の削減

達成目標：ミーティングにてインシデント・アクシデント報告・事故報告・車両事故報告・検討会を実施する（毎月）。毎月の在宅会議で件数と事例を報告する。年間の報告件数を集約・分析し結果を事業所職員に報告する。

C-2. 法令遵守体制を整える

達成目標：自己点検を実施し、改善を行う。

D-1. 院内・院外研修への参加率の向上

達成目標：年間研修計画に基づく勉強会の実施。

【今年度を振り返って】

年間を通じて利用回数目標に対して延べ回数実績が、平均 335 名（目標比 63%）・1 日平均 12.8 名の実績にて目標は未達成となりました。今年度は人員配置不足が続く事業所運営が厳しい状況ではありましたが、地域へ根付いたデイサービスとして総合事業対象者の受け入れを継続的に実施し、重度介護が必要な方々の受け入れも継続し、日々職員間で利用者様への対応について話し合い試行錯誤しながら対応させていただきました。又、看護師の配置・リハビリ職種の配置を継続して行い、機能訓練や医療ニーズが高い利用者の受け入れも行って参りました。

12 月の運営指導では、1 点指摘事項はありましたがその他は特に指摘事項ありませんでした。部署内の研修については計画を立てて継続的に実施することができました。

2024 年 4 月で事業所休止となることが決定しましたが、しあわせ通りらぶを最後まで利用したいとほとんどの方が 4 月末までの利用を希望されました。そして無事に全員次のご利用先に繋げることができました。今回 4 月末を持って休止となりますが、長年お世話になった地域の方々、関係機関各位に感謝申し上げます。

デイサービス 風の街

【今年度の取り組み】

A-1. ご利用者様の満足度向上

達成目標：満足度調査実施。苦情 0 にする。

B-1. 既存事業所の健全運営

達成目標：月平均利用者数 12.5 名。

C-1. リスクマネジメントの強化

達成目標：インシデント・アクシデント、車両事故報告を最小限におさえる。

C-2. 法令順守に基づくサービスの提供

達成目標：自己点検を行い、必要書類の整備を行う。

D-1. 学習意欲の向上

達成目標：勉強会参加率 65%。

BCP を基に防火訓練計画の立案、実施。

【今年度を振り返って】

令和5年度は利用者様満足度調査において、満足度率 58%という評価を頂き、のこりの 42%は普通であるという評価。不満であるという評価が 0%であり、イベント行事に力を入れたことが評価されていた。

経営的には職員の確保が困難なことにより日曜日を休止させた事もあり、前年度終了時の稼働率を上回る事が難しく、新規利用者の相談は随時、頂き新規利用者は増加していたが入院などが続き、稼働率の向上に結ぶつけることが出来なかった。

質の向上の視点からは、自己点検票に基づき、書類の不備や漏れなどの確認を実施。

地域包括ケアシステムの構築、地域共生社会の実現へ向け、法人全体として大規模災害模擬訓練を実施することが出来た。

訪問看護ステーション まむ

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度向上

達成目標：法人内の専門看護師による同行訪問を開始し、利用者様の在宅生活の質の向上に繋がった。

満足度調査の結果：回収率 82.2% 全ての項目によって高評価であった。

B-1. 既存事業所の健全経営

達成目標：訪問延べ回数 329 回 医療 109 回／介護 220 回。

C-1. リスクマネジメントの強化

達成目標：インシデント 1 件、アクシデント 1 件、車両事故 1 件。

C-2. 法令順守に基づくサービスの提供

達成目標：全国訪問看護事業協会の自己評価表を用いて実施。事業所課題の明確化に繋がった。

D-1. 業務に関する基礎知識の習得・学習意欲の向上

達成目標：事業所内での勉強会を実施しました。院内勉強会・各自セミナーを含む外部研修やオンライン研修に参加し自己研鑽に努めた。

【今年度を振り返って】

年間を通して稼働の変動が大きかったが、医療機関からの新規依頼等で、医療訪問件数は増加傾向にあった。

地域活動として、鹿児島国体の救護活動の参加や鹿児島県災害訓練等の活動にも積極的に参加した。

今年度も看護学生の実習受け入れを 6 か月実施した。

訪問看護ステーション まむ鹿児島

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様の満足度の把握と向上

達成目標：1 回／年、満足度調査の実施、集計、結果公表。アンケートの結果を反映した業務改善案の設定。

B-1. 訪問看護利用者数の向上、稼働率の維持向上

達成目標：訪問延回数上半期 9 月 295 回、下半期 3 月 325 回。

C-1. 報告の徹底

達成目標：インシデント報告の情報共有と改善に向けた対策。

D-1. 勉強会及び、カンファレンスの実施、質の向上

達成目標：部署内勉強会の項目に、事例検討会を追加して行う。個人研修計画書の作成、研修参加後のフィードバック。

【今年度を振り返って】

本年度は、退院直後の医療介入、新規受け入れ、ご自宅でのお看取り等、医療訪問件数は増加し、積極的な外部利用者の獲得を目指すことが出来た。新年度も、日々の業務改善を行い、業務分担と効率化、スケジュールの見直し、外部利用者獲得の為に定期的な広報活動を実施してゆく。

在宅サービス事業部 部門別活動報告

また、突発的な依頼へのスムーズな対応、緊急時対応、在宅での看取り等、より幅広いニーズに応えられるように、各個人の研修計画に沿った研修参加とフィードバックを行い、事業所全体のスキル向上に向けた取り組みを継続、知識技術を高めていく。

また、ストレスのない働きやすい職場環境を念頭に置き、スタッフの安定した定着を図れるよう努め、スタッフの教育にも取り組んでいきたい。

今後も心を込めた看護の提供、選ばれるステーションとなるよう、スタッフ全員協力体制で取り組み、ご利用者様、ご家族様がより安心して在宅での生活が送れるように、寄り添ってゆきたいと考える。

訪問介護ヘルパーステーション 甲東

【今年度の取り組み】

- A-1. 利用者様の満足度向上
達成目標：接遇・ケア・環境整備等による苦情（苦情相談2件以下）。
- B-1. 事業所の健全経営
達成目標：訪問介護1日訪問件数12件及び医療との連携構築の為、入院患者への介護保険外サービス（自費支援サービス）の提供
- C-1. リスクマネジメントの強化
達成目標：定例ミーティングにおいて、インシデント・アクシデント報告会を実施。原因、対策の分析、周知徹底を行い、再発防止に努める。
- D-1. 法令遵守に基づくサービスの提供
達成目標：運営指導に基づく内部監査計画書の作成、実施。
- D-2. 業務に関する基礎知識の習得
達成目標：定例ミーティングにおける勉強会の実施。
担当制を行う事で、認知症ケア、感染症、BCP等についての知識向上、専門性を養う。

【今年度を振り返って】

現在スタッフが有料老人ホームと兼務している為、入居者におけるヘルパー業務と外部利用者数件における自費支援サービスの提供のみ。入居者に関してはヘルパーの視点から、サービス提供責任者にて研修会を行い、ケアに対する接遇強化を図る。障害福祉サービスに関しては9月に運営指導が実施。指摘事項については早急に対応を行い、職員間にて内容把握、理解に努めた。今年度より法人内にて、非常災害時に対してのBCP（事業継続計画）における大規模災害模擬訓練が実施。今後は職員に対してBCPについての周知、計画内容の把握に努めていきたい。

居宅介護支援事業所 めく杜

【今年度の取り組み】

- A-1. 利用者様の満足度向上
達成目標：感染症対策を考慮した年間事業計画を立案し実行。
満足度調査の実施と結果を公表し苦情報告ゼロを目指す。
- B-1. 事業所の健全経営
達成目標：新規獲得数 月2件、介護72件、予防9件。集中減算にならないように取り組む。
特定事業所加算（Ⅱ）の算定が継続できる。
- C-1. リスクマネジメントの強化
達成目標：インシデント、アクシデント報告、検討会実施。在宅会議での件数と事例報告。年間の報告件数を集約・分析し職員へ報告。
- C-2. 法令遵守に基づくサービスの提供
達成目標：自己点検シートでの評価、考察。内部監査を受けて評価、修正を行う。
ケアプラン点検での指導助言を受けて必要個所の見直しを行う。
- D-1. 地域包括ケアシステムの構築、地域共生社会の実現、学習意欲の向上
達成目標：事業所のBCP作成と関係機関とのシュミレーションを行う。
重点項目としての研修会参加を受け運営規程を修正する。
年間計画に沿って研修会へ参加し事情書内での情報共有を行う。

【今年度を振り返って】

新型コロナウイルス感染症も5類と移行となり、リモート研修から集参加型の研修が増え、学びの機会も増えた。また、ご利用者様、ご家族様への相談支援も直接でき、すぐに対応ができることで、満足度調査では良い評価を得られた。後半、職員も増え、新規利用者獲得ができるようになり件数も増え目標件数へ近づくことができた。しかし、特定事業所加算算定までは要件を持たせず、取得できない状態である。事業所のBCP作成を実施したが、シュミレーションまでには至らず、今後、計画的に実施していく予定である。次年度の、介護報酬改定に向けての勉強会へ積極的に参加し、各自がしっかりと理解できるように取り組んできた。改定後も確実に取り組めるよう、努力していきたい。

居宅介護支援事業所 キラメキ

【今年度の取り組み】

A-1. 利用者様に信頼されるケアマネジャー

達成目標：毎週、情報連絡会議を開催し、利用者の情報共有に努め担当変更やクレームは無かった。
退職者による人員不足にて利用者の減少はやむを得なかった。

B-1. 事業所の健全経営

達成目標：入退職があったが、どうにか職員数が3名となり安定してきた。3月より新規も多く引き受けている。R6年度4月からの特定事業所加算Ⅲの算定準備を整えた。

C-1. ケアマネジメントプロセスの遵守

達成目標：主任ケアマネ取得者2名。全職員が主任ケアマネまでであり資質の高い事業所体制が整った。
外部研修も各自2回以上参加あり。

D-1. 業務に関する知識・最新情報の取得

達成目標：研修への参加も積極的に行い、主ケア研修を受講し、全職員が主任ケアマネとなった。
さらに質の高い事業所づくりを目指す。

【今年度を振り返って】

今年度も数名の退職者があり、事業所体制を整えること、また利用者の確保が厳しい状況であった。2月より新入職員が入り、事業所体制がやっと整った。7月より、人員不足により特定事業所加算の算定が出来なくなりましたが、令和6年4月より、特定事業所加算Ⅲの再算定が出来るように準備を整えた。ケアマネジャーがモチベーションを取り戻しケアマネジメント業務に専念できるよう、介護保険や鹿児島地区の状況に合わせて持続可能な業務遂行ができるように努めます。

在宅サービス事業部内研修

在宅サービス事業部内各事業所において、独自の取り組みや研究を行っており、年に一度、両地区合同で研究発表会を開催しています。

【第1回在宅合同研究発表会 ZOOMによりハイブリット開催】

○実施日：2024年2月9日（金）17：30

○会場：介護医療院おはな 1階リハフロア
有料老人ホームほりえ 1階デイフロア

《演題》始良地区

- ① 「通所介護事業所Aにおけるcog-evo導入が認知機能に与える影響」
通所介護事業所しあわせ通りらぶ 藤原 敦美
- ② 「療育ケア児と家族を支える訪問看護導入の取り組み」
～療育ケアが必要な子供と家族に、訪看スタッフができること～
訪問看護ステーションまむ 柳田 和江

《演題》鹿児島地区

- ③ 「癌末期利用者の離島への帰省をサポートする看護」
～その人らしく生きるために～
訪問看護ステーションまむ鹿児島 川名 理恵
- ④ 「看護多機だからこそこできる伴走型支援の重要性」
～在宅での排泄介助を見直し支援する～
ケアレジデンス星の街 永田 綾香

在宅合同勉強会

事業部内の勉強会も月1回のペースで開催。今期は以下のテーマで開催しました。

○主催：在宅サービス事業部教育委員会

○実施日：毎月1回、定例的に実施

○対象：在宅サービス事業部の職員

※新型コロナウイルス感染症により感染状況により実施判断

【鹿児島地区・始良地区 ZOOMによるハイブリット開催】

開催月	テーマ
4月	研究発表への取り組み方
5月	職員の腰痛予防対策
6月	感染対策について（食中毒）
7月	緊急時の対応（心臓マッサージ、AEDの使用方法について）
8月	看護小規模多機能型居宅介護について～事業所独自の取り組み紹介～
9月	災害対策（BCPについて）
10月	健康講座～あなたの未来を変えるのはだれですか～
11月	ハラスメントについて
12月	リスクマネジメントについて
1月	介護医療院について～介護医療院の特性と在宅との連携について～
2月	在宅研究発表
3月	報酬改定について